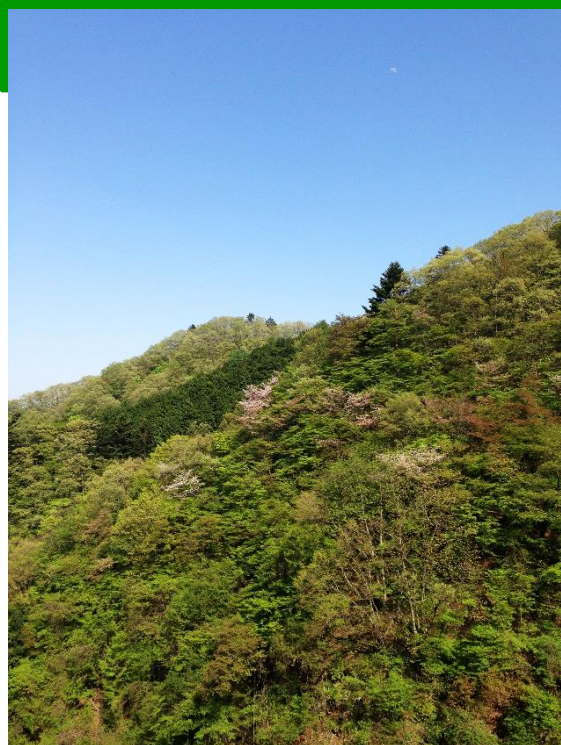


## 新緑の話題



4月中旬から植物の芽吹きが早くなり、あっという間に山の広葉樹林や平地などはフレッシュグリーンに大変化。同時に夏鳥が飛来したり、蝶などの昆虫や爬虫類などが勢いよく登場してきます。

生き物にとって、今は最も忙しい時期で、生きるために目いっぱいです。動物は「負けは死」や「食べるか食べられる」という気持ちで毎日を過ごして繁殖に向かいます。

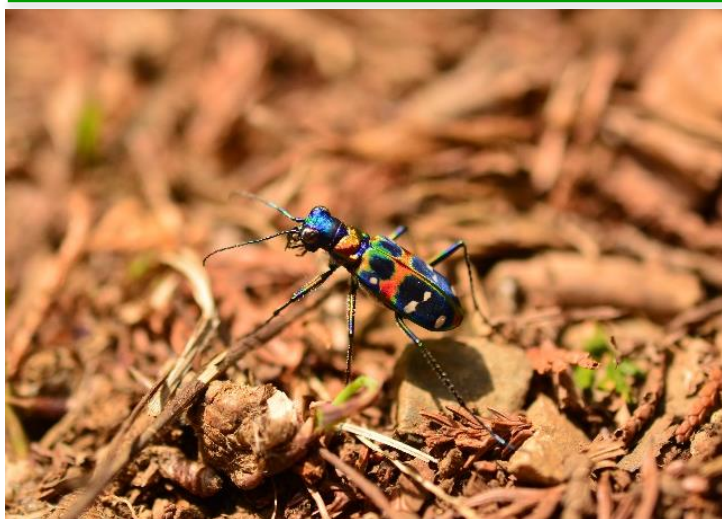
人間の感覚では、春はさわやかで気持ちいい季節です。特に5月は紅葉の季節と並び、一年の中で最もハイカーが多い時期です。

同じ春なのに、動物の世界と人間の世界は、全く別状況なのは不思議に思います。



「イカリソウ」新緑の時期に、奥山の限られた場所で見られる絶滅危惧植物です。花の形は面白くてとてもかわいい。

## 春の動物トピックス



4月23日に今年初めてハンミョウ(左写真)とアサギマダラを見かけました。この2種類は山の平地や林道などの明るい場所で見られます。これからは、昆虫が楽しめる時期に入りま〜す。



← トウキョウダルマガエルも繁殖に入りました。田んぼなどで見られる両生類ですが、激減により稀少種になっています。

4月の鳴き声記録  
(夏鳥初確認など)

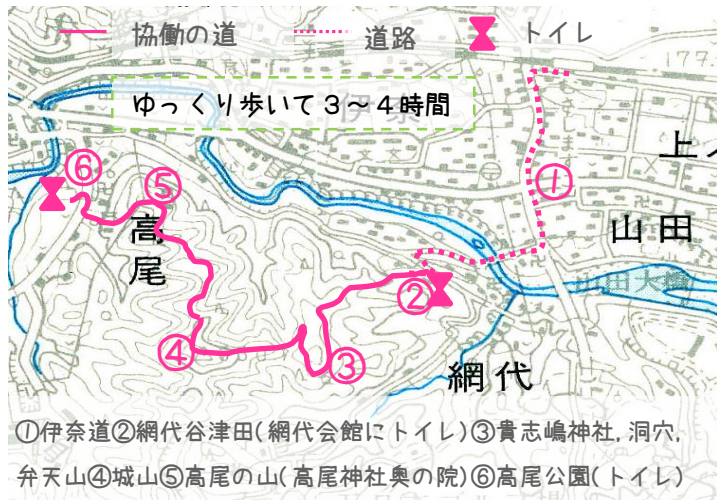
4月2日>サシバ・4月3日>シュレーゲルアオガエル・4月10日>ヒレンジャク&キレンジャク・4月15日>オオルリ・4月16日>センダイムシクイ&クロツグミ・4月19日>キビタキ・4月21日>ヤブサメ&カジカガエル・4月25日>コサメビタキ・4月27日>ツツドリ。

\* 今年、オオルリ(上写真)とセンダイムシクイ(左写真)はかなりの数が飛来している様で森はとても賑やかで〜す。

[パブロ]







①伊奈道②網代谷津田(網代会館にトイレ)③貴志嶋神社、洞穴、弁天山④城山⑤高尾の山(高尾神社奥の院)⑥高尾公園(トイレ)

## 協働の道

あきる野市では、5年前から「新たな人と森との共生を目指す取組み（郷土の恵みの森構想）」を行っています。その中で、地域と協働の森づくりとして、景観、昔道復活・補修、散策路の整備など、地域の皆さんやサポートレンジャー、森林レンジャーそれぞれの力と知恵を活かし「訪れた人に地域・自然の良さを知ってもらいたい」という気持ちを原動力に、交流を深めながら行ってきた協働の森づくり。

今回紹介するのは、高尾自治会と網代自治会がそれぞれ整備してつながった散策路です！



②網代谷津田



③貴志嶋神社



⑤奥の院から少し⑥方向へ進むと…絶景を見渡せるベンチで一服！！

## ルートの魅力

武蔵増戸駅から鎌倉街道を歩き網代を目指す途中、古くから秋川谷を代表する地であった伊奈では市が開かれていたことから五日市街道は昔**①伊奈道**と呼ばれていました。「伊奈のこぶ梨 ろくでなし」これは地元の方から聞いたお話です。

「5-60年前、市の名残で梨の並木があった。それは馬の手綱を結ぶのに丈夫な梨の樹を利用するため、実は食べられたのだけどまずかった。でも、よく食べた（笑）懐かしいな～」**②谷に集まる水を利用して稲作をする谷津田**。ツバメやカエルなど田んぼを利用する生物を見たあと、赤い鳥居をくぐって**③貴志嶋神社**へ向かいます。祭られている弁才天のルーツは河川の神で、水・農業の神でもあります。奥の院がある**洞穴**には、洞内にたまる水を昔の人は神からの恵みと感じ「水、雨乞いの神」と信じるようになったという話もあるそう。ここは伊奈石で作られた大黒天像も祭られていて、南関東では珍しい洞窟遺跡が発見され

た場所でもあります。**④城山（じょうやま）**は、争いから逃れる村人の避難所として作られ、戦国時代には武田軍から北条氏の居城（八王子城）を守るため戸倉城山（しろやま）と高月城を狼煙（のろし）でつなぐ役目がありました。**⑤高尾神社奥の院**が置かれているのは高尾の山ですが、高尾神社の祭神が迦具土之神（かぐつちのかみ）で、火伏せの神＝愛宕さまであることから地元の人からは愛宕山とも呼ばれています。このルートの大きな魅力は、網代に水の神、高尾に火の神がいること。水がなければ作物は作ることができないし、火は人の暮らしを豊かにするけれど、使い方を誤ると恐ろしい存在にもなる…

季節によって楽しめる自然・里山動物の気配を感じるだけでなく、先人の足あとをたどっていくことで**自然は神さま**というほんわかな気持ちが心に浮かぶルートだと思います。

歩いてみてはいかがでしょうか。（加瀬澤）